

2017年10月1日

(株)東京環境測定センターニュース

(No. 200)

1. シックハウス問題の動向

厚生労働省等で開催される検討会等の議事録や最終報告書等を見ることにより行政の動向を知ることができます。今回は、厚生労働省で開催されている「シックハウス(室内空気汚染)問題に関する検討会」から今後の動向を見てみましょう。

最近では2017年4月19日に第21回の検討会が開催され、その時の主な議題は「室内濃度指針値の見直し等」でした。この議題については、2012年より再開された第11回からの継続議題となっていました。その背景には、13物質の指針値が制定された1997年から2002年の後、10年あまりが経過した頃より13物質以外の代替物質による問題、細菌由来のVOC類等の検出など新たな問題が指摘されたこと、また世界保健機構による空気基準の改廃の整合を図るため、室内空気汚染物質に係る室内濃度指針値の検討(見直しを含む)等を行う必要性がありました。2012年(第11回)からは下記の議題内容で議論されました。

【第11回】

- ・室内空気汚染予備調査結果について
- ・WHO空気質基準等について
- ・指針値の見直しの方針について
- ・その他

【第12回】

- ・室内空気汚染調査結果概要について
- ・自治体および関係団体のシックハウスに係る取組説明
- ・ヒアリング
- ・その他

【第13回～第16回】 ※同じ議題

- ・関係省庁、関係団体等のシックハウスに係る取組説明
- ・ヒアリング
- ・その他

【第17回】

- ・関係省庁、関係団体等のシックハウスに係る取組説明
- ・ヒアリング
- ・指針値の見直しの仕方について
- ・その他

【第18回～第21回】 ※同じ議題

- ・室内濃度指針値の見直し等について
- ・その他

第 21 回検討会の議事概要

1. 室内濃度指針値の見直しについて

(1) 室内空気汚染に係るガイドライン案について—室内濃度に関する指針値案—

現在指針値の設定されていない化学物質のうち、下記の 3 物質について詳細ばく露評価・詳細リスク評価の結果が報告されました。さらに指針値案が提案され、いずれも妥当であると認められました。

- ①2-エチル-1-ヘキサノール ②テキサノール
- ③2,2,4-トリメチル-1,3-ペンタンジオールジイソブレート(TXIB)

(2) 室内空気汚染に係るガイドライン案について—室内濃度に関する指針値の改訂案—

現在すでに指針値が設定されている化学の物質のうち、指針値の見直しが必要とされていた下記の 4 物質について指針値の改訂案が提案され、いずれも妥当であると認められました。

- ①キシレン ②エチルベンゼン ③フタル酸ジ-n-ブチル(DBP)
- ④フタル酸ジ-2-エチルヘキシル(DEHP)

これらの新・改定指針値案は、パブリックコメントを実施後、規定される予定です。

機発生有機化合物(VOC)	現行指針値	新・改定指針値案
2-エチル-1-ヘキサノール	—	130 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ (0.02ppm)
テキサノール	—	240 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ (0.03ppm)
2,2,4-トリメチル-1,3-ペンタンジオールジイソブレート(TXIB)	—	100 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ (8.5ppb)
ホルムアルデヒド	100 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ (0.08ppm)	
アセトアルデヒド	48 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ (0.03ppm)	
トルエン	260 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ (0.07ppm)	
キシレン	870 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ (0.20ppm)	200 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ (0.05ppm)
エチルベンゼン	3800 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ (0.88ppm)	58 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ (0.01ppm)
スチレン	220 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ (0.05ppm)	
パラジクロロベンゼン	240 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ (0.04ppm)	
テトラデカン	330 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ (0.04ppm)	
クロルピリホス	1 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ (0.07ppb)	
フェノブカルブ	33 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ (3.8ppb)	
ダイアジノン	0.29 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ (0.02ppb)	
フタル酸ジ-n-ブチル(DPB)	220 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ (0.02ppm)	17 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ (1.5ppb)
フタル酸ジ-2-エチルヘキシル(DEHP)	120 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ (7.6ppb)	100 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ (6.3ppb)

※クロルピリホス 現行指針値 小児の場合 0.1 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ (0.007ppb)

(3) 総揮発性有機化合物(TVOC)試験法案

— 略 —

御質問、問合せは、技術グループ 課長 坂井 TEL03(3895)1924 までお願いします。